

「仕事と生活の調和（WLB）レポート 2009」第 1 章～第 3 章の
第 8 回合同会議配付版からの修正点

修正箇所		修正理由等
序	新規に作成	「WLB レポート 2009 の作成について」（第 8 回配付資料 1）から、作成。 （「今後も・・・出発点に当たるもので、」の箇所については、榊原委員のご発言を反映）
第 2 章	第 2 章の冒頭に詳細な目次を追加	第 2 節のみ「行動指針」の柱立てになっており、わかりにくいという佐藤委員からのご指摘を受け修正。
	第 2 節「総論」の「2. 仕事と家庭の両立支援の促進と両立できる環境の整備」の「(2) 育児・介護休業制度の見直し」の記述の修正	改正育児・介護休業法案が成立したため。
	第 2 節「健康で豊かな生活のための時間の確保」に、「特別な休暇普及促進事業」を追加	多様な生き方を支える取組が見当たらないという佐藤委員からのご指摘を受け修正。
	第 2 節「多様な働き方」を「多様な働き方・生き方の選択」に修正	「憲章」の表現と一致させるため、修正。
	第 2 節「多様な働き方」の「1. 育児・介護休業、短時間勤務等の多様な働き方の推進」の項目について並べ順を逆転	一般的な関心からすると、並べ方を逆転させた方がよいとの横山委員からのご指摘を受け修正。
	第 4 節「2. 意識調査結果に見る個人の取組状況」について、顧客ニーズと働き方の関係についてのデータを追加	国民の取組に関して、社会的側面についても見るべきとの北浦委員のご指摘を受け修正。
第 3 章	第 1 節について、「就労による経済的自立」、「健康で豊かな生活のための時間の確保」、「多様な働き方・生き方の選択」の各項目に、「憲章」に掲げられた目指す社会の姿を記載。	各項目と、そこで取り扱うデータの脈絡をわかりやすくするため、修正。

<p>第1節について、「図表3 - 1 - 3 非正規雇用者の割合」とそれに関する文言(「男女別に正規の職員・従業員以外の雇用者…増加しています(図表3 - 1 - 3)」。)を追加</p>	<p>非正規雇用者の割合の性別のデータを挿入すべきとの大沢委員からのご指摘を踏まえ修正。</p>
<p>第1節について、「また、中学、高校、大学の卒業後、3年以内に…キャリアの蓄積を図ることが求められています。」の記述と、図表3 - 1 - 8を追加。</p>	<p>非正規労働者に関して課題となっているのは若年層であるとの川本委員からのご指摘を受け修正。</p>
<p>第1節について、図表3 - 1 - 9に年間早実労働時間(一般労働者)のグラフを追加</p>	<p>本文の記述に対応するため、修正。</p>
<p>第2節「(2)時間当たり労働生産性の伸び率」及び「(10)自己啓発を行っている労働者の割合」のデータを更新 第3節についても、この2つを構成要素とする指標を更新</p>	<p>最新のデータが公表されたため、修正。</p>
<p>第2節の枠囲みに「2008年後半からの経済・雇用情勢の急速な悪化により…さらに積極的な取組が必要。」と「データ公表時期の関係で、…留意が必要」の記述を追加。</p>	<p>第2節及び第3節については、現状を楽観視しているようにも受け取れるため、現状を踏まえて留意が必要であることを記載すべきとの海老井委員のご指摘を受け修正。</p>
<p>第2節「(3)フリーターの数」について、「2008年をみると、いまだ170万人に上っています。」の記述を追加。</p>	<p>第2節及び第3節については、現状を楽観視しているようにも受け取れるため、現状を踏まえて留意が必要であることを記載すべきとの海老井委員のご指摘を受け修正。</p>
<p>第2節「(5)週労働時間60時間以上の雇用者の割合」について 「過度な長時間労働者が減少し、残業時間等の平準化が進んでいる可能性があります。」を「平準化に向けた動きがうかがえます。」に修正。</p>	<p>表現ぶりについての北浦委員からのご指摘を受け修正。</p>
<p>第2節「(5)週労働時間60時間以上の雇用者の割合」について 「しかしながら、週労働時間が49時間以上の雇用者の割合について、他の先進国と比べ高い水準となっています」の記述と、「図表3 - 14 週労働時間が49時間以上の雇用者の割合」を追加。</p>	<p>第2節及び第3節については、現状を楽観視しているようにも受け取れるため、現状を踏まえて留意が必要であることを記載すべきとの海老井委員のご指摘を受け修正。</p>

	<p>第3節の枠囲みに「データ公表時期の関係で、…留意が必要」の記述を追加。</p>	<p>第2節及び第3節については、現状を楽観視しているようにも受け取れるため、現状を踏まえて留意が必要であることを記載すべきとの海老井委員のご指摘を受け修正。</p>
<p>コラム</p>	<p>「『ワーク・ライフ・バランスと生産性に関する調和』報告書から」について 「(3)アンケート調査結果(管理職・一般社員)から」の追加</p>	<p>メンタル面に関するデータについて取り上げるべきとの榊原委員のご指摘を受け修正。</p>
	<p>「仕事と生活の調和に取り組む企業」の追加</p>	<p>中小企業の取組についても記載すべきとの樋口座長、北浦委員他からのご指摘を受け修正 (失敗談に関する事例を記載すべきとの榊原委員のご指摘を受け事例を選択)</p>
	<p>「仕事と生活の調和に取り組む民間団体」の追加</p>	<p>企業や国だけではなく、民間団体も取組を行っており、そうした取組を記載すべきとの北浦委員のご指摘を受け修正。</p>
	<p>「仕事と生活の調和と家族関係」の追加</p>	<p>仕事と生活の調和の「生活」面についての記述をもう少し入れるべきとの、佐藤委員、榊原委員ほかからのご指摘を受け、修正。</p>